



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」(以下、「推進員」)さん。現在、市内全小中学校に1〜3名が配置されています。その推進員さんに聞きました。



大庭 浩二さん

1. 配置校はどこですか？

二日市中学校です。

2. 推進員になったきっかけは？

以前からお世話になっていた先輩と、当時の校長先生からのすすめがあり引き受けました。

3. 主にどんな活動(具体的に)をしていますか？

現在、複数の団体に所属し、推進員のPR活動や学校と地域からの声をつなぎながら、各活動が円滑に進むよう調整役として取り組んでいます。写真は昨年12月に中学校体育館でクラブ生を対象に消防署員から救命講習を受けている時のものです。



▲救急救命講習をしている風景

4. 活動してみてもうれしかったことは？

活動を行う中での新たな気づきや出会いがあったことです。

5. 活動してみてもわかったことは？

それぞれが長い期間をかけて工夫や努力をしてより良い学校・地域となるよう考えて活動していること。あらためて気づかされました。

6. 将来、やってみたい活動は？

いまそれぞれが行っている活動が、つながり、ひろがっていくようになればよいと思っています。

7. 地域・学校の声

地域と学校との橋渡し役となっていたべくことにより、地域の未来を担う子どもたちが、地域の人たちに見守られながら豊かな学びや体験の機会を得て、健やかに成長していくことを期待しています。

(二日市中学校 学校運営協議会 委員)

